

ワールドメディアフェスティバル ドキュメンタリー部門で2作品が銀賞受賞

「パパがある日女性に」 (Documentaries Inclusion and Diversity)

「こどもホスピス いのち輝く”第2のおうち”」

(Documentaries Human Relations and Values)

朝日放送テレビ制作のドキュメンタリー2作品が、ドイツで開催された2023年ワールドメディアフェスティバルで、ドキュメンタリー部門の銀賞を受賞しました。

・「パパがある日女性に」 (Documentaries Inclusion and Diversity)



2児のパパが突然、カミングアウトし女性として生きていくことになりました。困惑する家族と、自分らしさを追求し変わっていくパパ。ときにぶつかり合い支えあう4人の日常、「新しい家族のかたち」に密着しました。

【制作スタッフ】

プロデューサー 西 一樹(報道局ニュース情報センター)

ディレクター 國友千愛(報道局ニュース情報センター)

カメラ 北島喜昭(エキスプレス)

編集 小寺裕明(フレックス)

音効 前田陽一(BRIO)

・「こどもホスピス いのち輝く“第2のおうち”」

(Documentaries Human Relations and Values)



小児がん、心臓病、免疫不全症——。国内に2万人以上いるとされている、重い病気と闘う子どもたち。長い入院生活で思うように家族の時間を過ごせなかった子や、きょうだい、親たちが集う場所が「こどもホスピス」です。子どもたちはこ

こでどう過ごし、どのようにその子らしさを取り戻していくのでしょうか。

こどもホスピス、そこは決して悲しみに満ちた場所ではない。人の温もりに包まれながら、“深く、懸命に生きる”子どもと家族の姿を追いました。

【制作スタッフ】

プロデューサー 西 一樹(報道局ニュース情報センター)

ディレクター 長谷川 健(報道局ニュース情報センター)

カメラ 神近伸彰(エクスプレス)

編集 靄井 治(アイネックス)

音効 前田陽一(BRIO)

